A

令和７年度　第１次試験問題

経済学・経済政策

１日目　９：50～10：50

＊試験開始前に、以下の事項を必ずご確認ください。

電卓、携帯電話やスマートフォン、ウエアラブル端末などの通信機器・電子機器類は、机上に置くことも、身に着ける(ポケットなどに入れる)ことも、使用することもできません。このことが試験時間中に守られていない場合は、不正行為として対処します。試験開始前に、必ず電源を切った上でバッグなどにしまってください。
スマートウオッチやスマートグラス、イヤホンなどの取り扱いも同様です。

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙に触れてはいけません。合図の前に問題用紙を開いた場合は、不正行為として対処します。
2. マークシートについての注意事項は、次のとおりです。
これらの事項を守らない場合、採点されませんので、注意してください。
(1) HB またはＢの鉛筆またはシャープペンシルを使用して、○部分をはみ出さないように、正しくマークしてください。鉛筆またはシャープペンシル以外の筆記用具を使用してはいけません。

良い例	悪い例				
●	⊖	▨	⊗	⊙	○ うすい

(2) 解答は選択肢(解答群)から１つ選び、所定の解答欄にマークしてください。
(3) 解答を修正する場合は、プラスチック製の消しゴムで消しあとが残らないようにきれいに消して、消しくずをマークシートから払い落としてください。
(4) マークシートに必要事項以外を記入してはいけません。
(5) マークシートを汚したり、折ったりしないように注意してください。
(6) マークシートは、必ず提出してください。持ち帰ることはできません。
3. 監督員の指示に従って、マークシートの所定欄に、受験票記載の受験番号と生年月日を、注意事項を参照の上、記入、マークしてください。記入、マークが終わったら再確認をして、筆記用具を置き、試験開始の合図があるまでお待ちください。
4. 試験開始後 30 分間および試験終了前５分間は退室できません。(下記参照)
5. 試験終了の合図と同時に必ず筆記用具を置いてください。試験終了後にマークや記入、修正をしてはいけません。マークや記入、修正をした場合は、不正行為として対処します。
6. マークシートの回収が終わり監督員の指示があるまで、席を立たないでください。
7. 試験時間中に体調不良などのやむを得ない事情で席を離れる場合には、監督員に申し出てその指示に従ってください。
8. その他、受験に当たっての注意事項は、受験票裏面などを参照してください。

＜途中退室者の方へ＞
試験開始 30 分後から終了５分前までの間に退室する場合は、マークシートと受験票を監督員席まで持参して、マークシートを提出してから退室してください。問題用紙も、表紙の下部に受験番号を記入した上であわせて提出してください。
問題用紙は、当該科目の試験終了後に該当する受験番号の席に置いておきますので、必要な方は当該科目の試験終了後 20 分以内に取りに来てください。それ以降は回収します。回収後はお渡しできません。なお、問題用紙の紛失などについては責を負いませんのでご承知おきください。

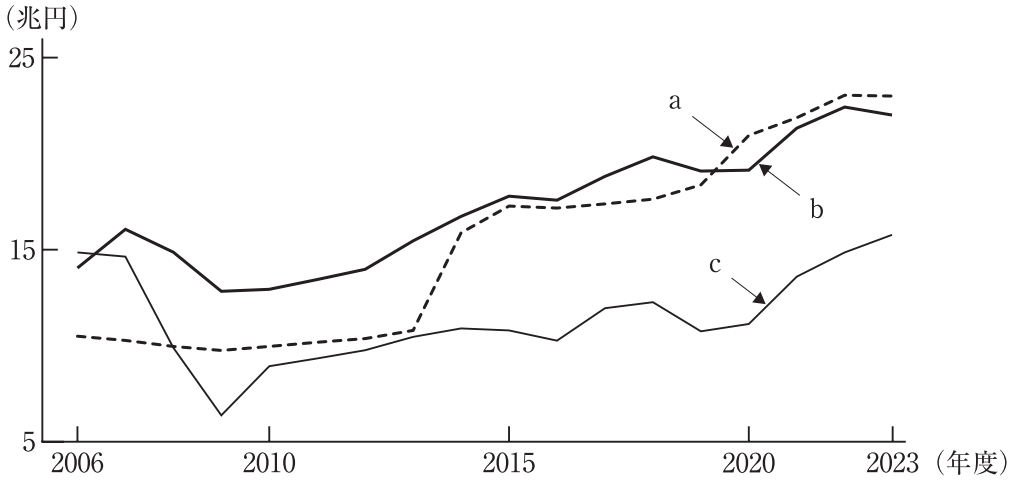
(途中退室する場合は、下の欄に受験番号を必ず記入してください。)

受験番号：

A

第 1 問

下図は、日本の一般会計税収のうち、主要 3 税目の近年の推移を示したものである。図中の a ～ c に該当する税目の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



出所：財務省ホームページ

〔解答群〕

ア　a：消費税　b：所得税　c：相続税

イ　a：消費税　b：所得税　c：法人税

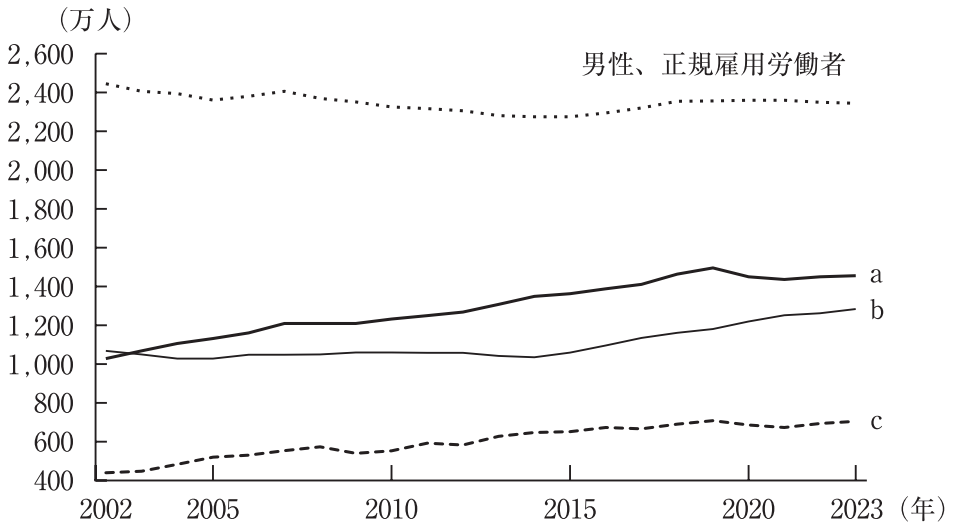
ウ　a：消費税　b：法人税　c：所得税

エ　a：所得税　b：消費税　c：相続税

オ　a：所得税　b：消費税　c：法人税

第 2 問

下図は、近年の日本における男女別・雇用形態別の雇用者数の推移を示している。図中の a ～ c に該当する項目の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



出所：厚生労働省『令和 6 年版　労働経済白書』

〔解答群〕

ア　a：男性、非正規雇用労働者　　b：女性、正規雇用労働者
　　c：女性、非正規雇用労働者

イ　a：女性、正規雇用労働者　　b：男性、非正規雇用労働者
　　c：女性、非正規雇用労働者

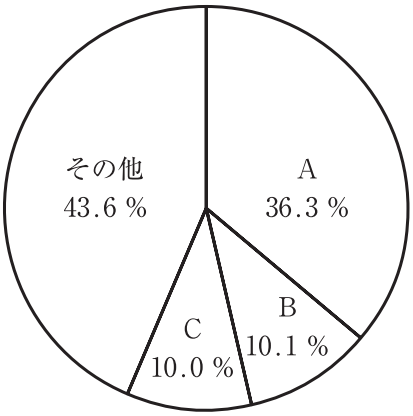
ウ　a：女性、正規雇用労働者　　b：女性、非正規雇用労働者
　　c：男性、非正規雇用労働者

エ　a：女性、非正規雇用労働者　　b：男性、非正規雇用労働者
　　c：女性、正規雇用労働者

オ　a：女性、非正規雇用労働者　　b：女性、正規雇用労働者
　　c：男性、非正規雇用労働者

第 3 問

下図は、2023 年末時点における日本への対内直接投資残高について、その業種別の内訳を示したものである。図中のＡ～Ｃに該当する業種の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



出所：日本銀行ホームページ

〔解答群〕

ア　Ａ：卸売・小売業　　Ｂ：通信業　　Ｃ：金融・保険業

イ　Ａ：化学・医薬　　Ｂ：輸送機械器具　　Ｃ：電気機械器具

ウ　Ａ：金融・保険業　　Ｂ：化学・医薬　　Ｃ：輸送機械器具

エ　Ａ：電気機械器具　　Ｂ：卸売・小売業　　Ｃ：通信業

第 4 問

国民経済計算の考え方に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　GDP は、フローとストックの混合概念である。

イ　GDP は、持ち家の帰属家賃を含み、住宅建築を含まない。

ウ　株式の配当や預金の利子は、GDP に含まれない。

エ　消防、警察などの行政サービスは無料なので、GDP に含まれない。

オ　輸入の減少は、GDP を増加させる。

第 5 問

２種類の財（X 財と Y 財）の数値例で物価指数を計算する。これらの財の単位当たりの価格と数量は、それぞれ以下の表のとおりである。基準年の物価指数を 100 とした場合、比較年の物価指数として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

	X 財		Y 財	
	価格	数量	価格	数量
基準年	10	5	5	10
比較年	12	5	6	9

〔解答群〕

ア　ラスパイレス指数では 95、パーシェ指数では 114。

イ　ラスパイレス指数では 114、パーシェ指数では 95。

ウ　ラスパイレス指数では 114、パーシェ指数では 120。

エ　ラスパイレス指数では 120、パーシェ指数では 95。

オ　ラスパイレス指数では 120、パーシェ指数でも 120。

第 6 問

景気循環の周期性に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　コンドラチェフ・サイクルは、約 50 年の周期をもつ景気循環で、大規模な技術革新などに起因して生じると考えられている。

b　キチン・サイクルは、約 20 年の周期をもつ景気循環で、住宅や商工業建築の建て替えなどに起因して生じると考えられている。

c　ジュグラー・サイクルは、約 7 ～ 10 年の周期をもつ景気循環で、生産設備の更新投資などに起因して生じると考えられている。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正

イ　a：正　b：正　c：誤

ウ　a：正　b：誤　c：正

エ　a：誤　b：正　c：正

オ　a：誤　b：正　c：誤

第 7 問

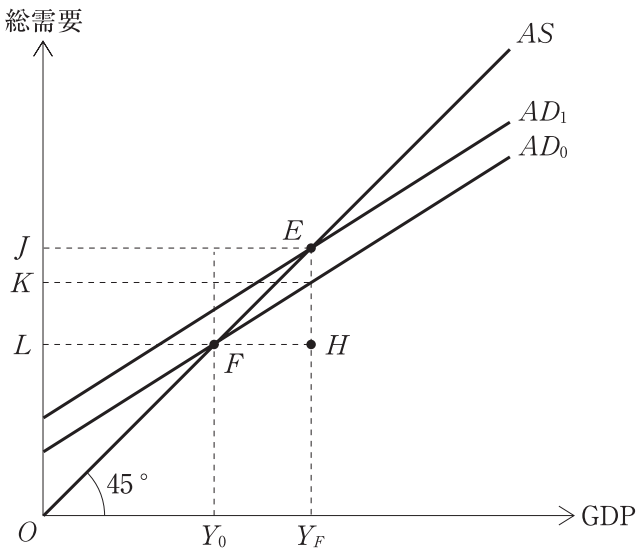
下図は 45 度線図である。この図において、Y_0 は現実の GDP、Y_F は完全雇用 GDP であり、総需要 AD、総供給 AS は、それぞれ以下のように表されるとする。

総供給　$AS = Y$

総需要　$AD = C + I + G$

消費関数　$C = C_0 + c(Y - T)$

ただし、C は消費支出(消費関数)、I は投資支出、G は政府支出、C_0 は基礎消費、c は限界消費性向$(0 < c < 1)$、Y は GDP、T は租税である。



この図に基づいて、下記の設問に答えよ。

(設問 1)

この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　完全雇用 GDP 水準における総供給の大きさは、OJ に等しい。

b　現実の GDP 水準における総需要の大きさは、OK である。

c　デフレ・ギャップの大きさは、JK である。

d　限界消費性向の大きさは、$\dfrac{EH}{FH}$ である。

〔解答群〕

ア　a：正　　b：正　　c：正　　d：誤

イ　a：正　　b：正　　c：誤　　d：正

ウ　a：正　　b：誤　　c：正　　d：誤

エ　a：誤　　b：正　　c：正　　d：誤

オ　a：誤　　b：正　　c：誤　　d：正

（設問２）

減税によって総需要線が AD_0 から AD_1 にシフトしたとする。この減税の効果に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　減税による総需要の増加分は、KL である。

b　減税による GDP の増加分は、JL である。

c　減税の租税乗数は、$\dfrac{JL}{JK}$ である。

〔解答群〕

ア　a：正　　b：正　　c：正

イ　a：正　　b：正　　c：誤

ウ　a：正　　b：誤　　c：誤

エ　a：誤　　b：正　　c：正

オ　a：誤　　b：正　　c：誤

第 8 問

加速度原理の考え方による投資の決定に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　生産量の増加が前期に比べて大きくなるとき、投資は増加していく。

b　生産量の増加が前期と同じとき、投資の増加率はゼロになる。

c　生産量の増加が前期に比べて小さくなると、投資はゼロになる。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：誤

イ　a：正　b：誤　c：正

ウ　a：正　b：誤　c：誤

エ　a：誤　b：正　c：誤

オ　a：誤　b：誤　c：正

第 9 問

物価上昇率と利子率の関係に関する考え方にフィッシャー方程式がある。フィッシャー方程式に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　名目利子率は、実質利子率から期待物価上昇率を控除したものである。

b　名目利子率が上昇しても、これと同じだけ物価上昇率が高くなると、実質利子率は変化しない。

c　名目利子率が一定で将来の物価上昇が見込まれるとき、実質利子率は低下する。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正

イ　a：正　b：正　c：誤

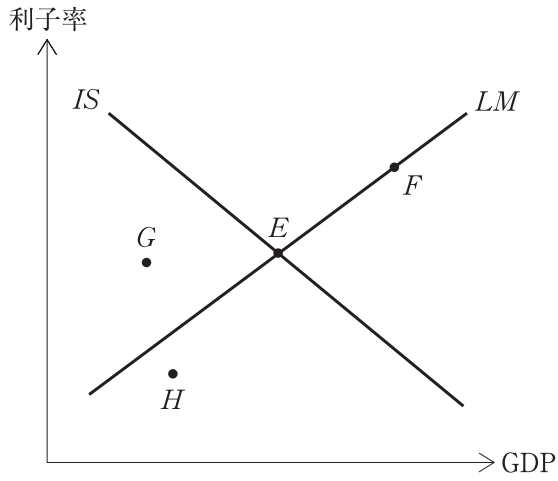
ウ　a：正　b：誤　c：正

エ　a：誤　b：正　c：正

オ　a：誤　b：正　c：誤

第10問

下図は、*IS* 曲線と *LM* 曲線を描いている。この図に基づいて、下記の設問に答えよ。



（設問１）

この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　点 *E* では、生産物市場と貨幣市場が同時に均衡している。

b　点 *F* では、生産物市場は超過需要であるが、貨幣市場は均衡している。

c　点 *G* では、生産物市場は超過供給であり、貨幣市場は超過需要である。

d　点 *H* では、生産物市場は超過需要であり、貨幣市場は超過供給である。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：誤　d：誤

イ　a：正　b：誤　c：正　d：誤

ウ　a：正　b：誤　c：誤　d：誤

エ　a：誤　b：正　c：誤　d：正

オ　a：誤　b：誤　c：正　d：誤

（設問２）

IS 曲線と *LM* 曲線に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　限界消費性向が大きいほど *IS* 曲線の傾きはより緩やかになり、貨幣供給の増加による GDP の拡大効果は大きくなる。

b　投資の利子感応度が小さいほど、*IS* 曲線の傾きはより急になり、貨幣供給の増加による GDP の拡大効果は小さくなる。

c　貨幣需要の所得感応度が大きいほど、*LM* 曲線の傾きはより緩やかになり、政府支出の増加による GDP の拡大効果は小さくなる。

d　貨幣需要の利子感応度が大きいほど、*LM* 曲線の傾きはより緩やかになり、政府支出の増加による GDP の拡大効果は大きくなる。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：誤　d：正

イ　a：正　b：誤　c：正　d：誤

ウ　a：正　b：誤　c：誤　d：正

エ　a：誤　b：正　c：正　d：誤

オ　a：誤　b：正　c：誤　d：正

第11問

経常収支および貿易収支に関する下記の設問に答えよ。

（設問１）

日本の経常収支の黒字を拡大させる方向に作用することが想定される要因の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　海外企業が提供するクラウドサービスに国内企業が支払う利用料の増加
b　国内大手自動車メーカーが所有する海外子会社の利益の増大
c　訪日外国人観光客の増加
d　原油や天然ガスなどの資源価格の上昇

〔解答群〕

ア　a と b
イ　a と c
ウ　b と c
エ　b と d
オ　c と d

（設問２）

円建ての貿易収支 NX が、以下のように表されるとする。

$NX = PX(e) - eP^* M(e)$

ただし、$X(e)$ は輸出量、$M(e)$ は輸入量、e は円建て為替レート、P は円建て輸出財価格（一定）、P^*はドル建て輸入財価格（一定）である。

為替レートの変化が貿易収支に及ぼす影響に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　為替レートが変化しても輸出量と輸入量は変化しないとき、為替レートの円安・ドル高への変化は、貿易収支を悪化させる。

b　輸入の価格弾力性と輸出の価格弾力性がいずれも１より大きいとき、為替レートの円安・ドル高への変化は、貿易収支を改善させる。

c　輸入の価格弾力性と輸出の価格弾力性の合計が１に等しいとき、為替レートの円安・ドル高への変化は、貿易収支を悪化させる。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正

イ　a：正　b：正　c：誤

ウ　a：正　b：誤　c：正

エ　a：誤　b：正　c：正

オ　a：誤　b：正　c：誤

第12問

完全競争市場における、ある上級財の需要曲線と供給曲線のシフトに関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　この財にとって代替的な財の価格が下落すると、需要曲線は右方向にシフトするが、供給曲線は変化しない。

b　消費者の保有する資産額が増加すると、需要曲線は左方向にシフトするが、供給曲線は変化しない。

c　この財を生産する企業に生産物１単位当たり定額の補助金が交付されると、供給曲線は左方向にシフトするが、需要曲線は変化しない。

d　この財を生産するに際しての原材料費が増加すると、供給曲線は左方向にシフトするが、需要曲線は変化しない。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：誤　d：正

イ　a：正　b：誤　c：正　d：誤

ウ　a：誤　b：正　c：誤　d：正

エ　a：誤　b：誤　c：正　d：誤

オ　a：誤　b：誤　c：誤　d：正

第13問

需要の価格弾力性(絶対値)に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　需要の価格弾力性がゼロであれば、価格の上昇によっても消費者の支出総額は変化しない。

b　需要の価格弾力性が1より大きければ、価格の下落によって消費者の支出総額は増加する。

c　同一の財について長期間で計った需要の価格弾力性は、短期間で計った場合よりも低くなりやすい。

d　需要曲線が横軸に水平な直線である場合、需要の価格弾力性は無限大である。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正　d：誤

イ　a：正　b：誤　c：正　d：誤

ウ　a：誤　b：正　c：誤　d：正

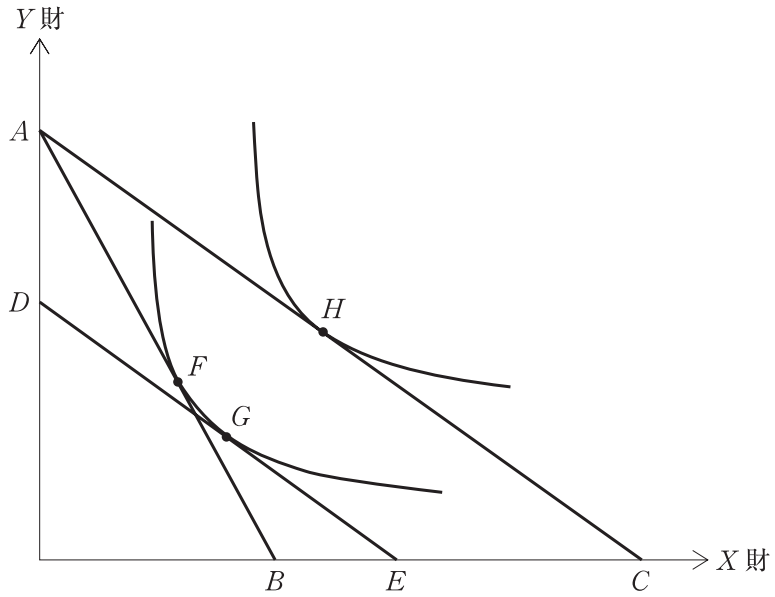
エ　a：誤　b：誤　c：正　d：正

オ　a：誤　b：誤　c：誤　d：誤

第14問

ある家計が所得をすべて使って X 財と Y 財の消費に充てるものとする。当初、予算制約線 AB の下で、無差別曲線と接する点 F で最適消費が達成されていたが、X 財の価格が変化し、予算制約線が AC にシフトしたことで、無差別曲線と接する最適消費点は点 H に変化した。下図には、予算制約線 AB と点 F で接する無差別曲線に対して点 G で接する、予算制約線 AC と同じ傾きの直線 DE が描かれている。

この図に関する記述の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



a　上級財である X 財の消費量は、代替効果で増加し、所得効果でも増加した。

b　下級財である X 財の消費量は、代替効果で減少し、所得効果でも減少した。

c　上級財である Y 財の消費量は、代替効果で減少し、所得効果では増加した。

d　上級財である Y 財の消費量は、代替効果で増加し、所得効果でも増加した。

〔解答群〕

ア　a と c

イ　a と d

ウ　b と c

エ　b と d

第15問

企業の短期費用曲線に関連して、下記の設問に答えよ。

（設問１）

限界費用に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　限界費用が一定のとき、供給の価格弾力性はゼロになる。

b　生産量の増加とともに平均可変費用が上昇するとき、限界費用も逓増している。

c　平均固定費用の低下は、限界費用を低下させる。

d　平均費用が最小のとき、限界費用も最小である。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：誤　d：正

イ　a：正　b：誤　c：正　d：誤

ウ　a：誤　b：正　c：正　d：誤

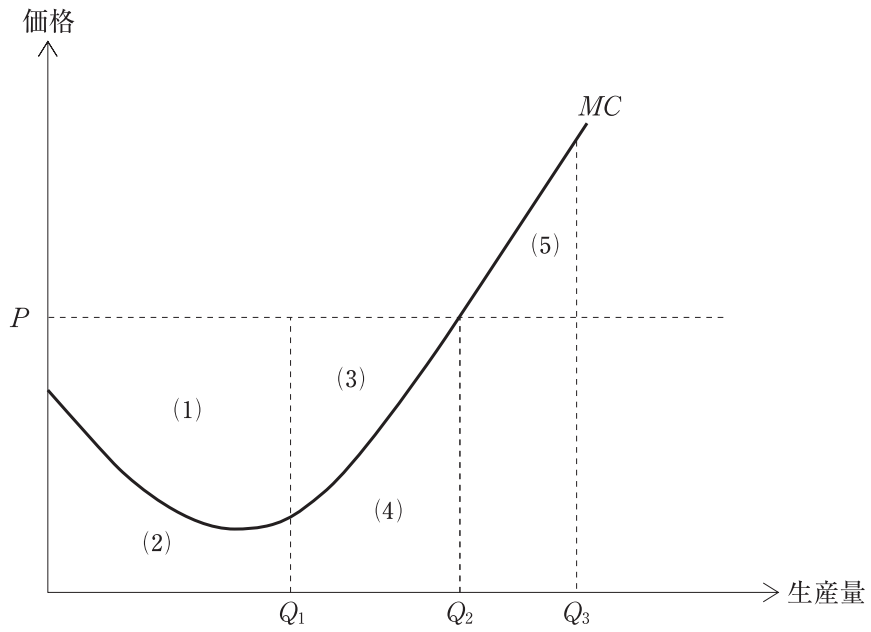
エ　a：誤　b：正　c：誤　d：正

オ　a：誤　b：正　c：誤　d：誤

（設問２）

下図は、ある財を生産する企業の限界費用曲線 MC と当該財の価格 P を表している。

この図に関する記述の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



a　生産量が Q_2 のときの総収入は、(2)と(4)を合わせたものである。

b　生産量が Q_2 のときの固定費用と利潤の合計は、(1)と(3)を合わせたものである。

c　生産量を Q_2 から Q_1 に減らすと、固定費用は(4)の分だけ減少する。

d　生産量を Q_2 から Q_3 に増やすと、(5)の分だけ追加的な損失が発生する。

〔解答群〕

ア　a と b

イ　a と c

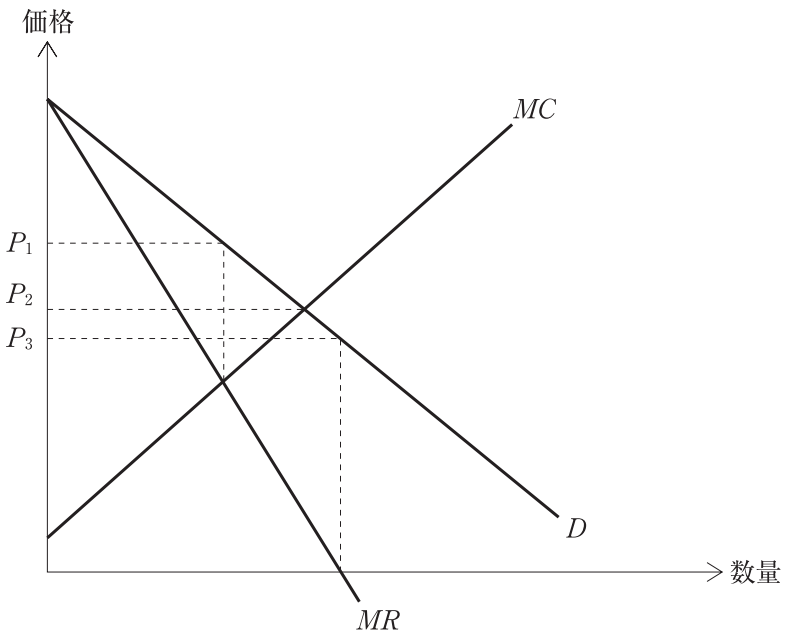
ウ　b と c

エ　b と d

オ　c と d

第16問

独占市場を示した下図において、この財の需要曲線が D で与えられ、MC が企業の限界費用、MR が同じく限界収入である。この独占企業が利潤の最大化を図る場合の価格と、総収入の最大化を図る場合の価格の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



〔解答群〕

ア　利潤最大化：P_1　　総収入最大化：P_2

イ　利潤最大化：P_1　　総収入最大化：P_3

ウ　利潤最大化：P_2　　総収入最大化：P_1

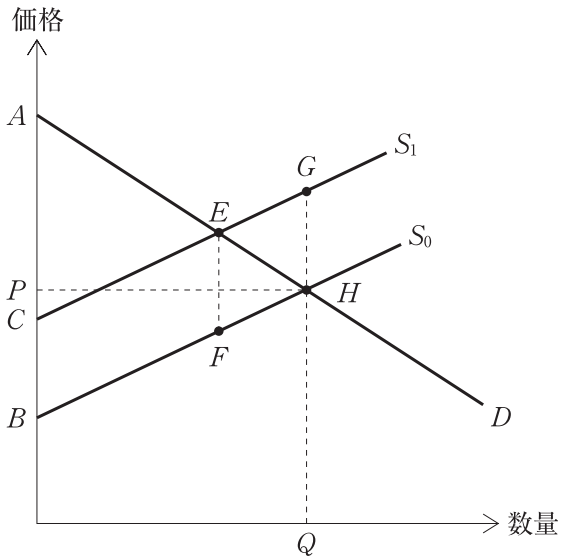
エ　利潤最大化：P_2　　総収入最大化：P_3

オ　利潤最大化：P_3　　総収入最大化：P_2

第17問

工場排水が自然環境と近隣住民の生活に悪影響を与えるような、生産活動に負の外部性が伴う場合の市場均衡を考える。下図には、需要曲線 D、私的限界費用曲線 S_0、社会的限界費用曲線 S_1 が描かれている。市場均衡は点 H で与えられ、均衡価格は P、均衡取引量は Q である。また、社会的な最適点は点 E である。

この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



a　市場均衡の下での生産者余剰は、三角形 PBH である。

b　市場均衡の下での外部費用は、四角形 $EFHG$ である。

c　市場均衡の下で生じる厚生上の損失は、三角形 EHG である。

d　最適点が達成された場合の社会的余剰は、三角形 ACE である。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正　d：誤

イ　a：正　b：正　c：誤　d：誤

ウ　a：正　b：誤　c：正　d：正

エ　a：誤　b：正　c：誤　d：正

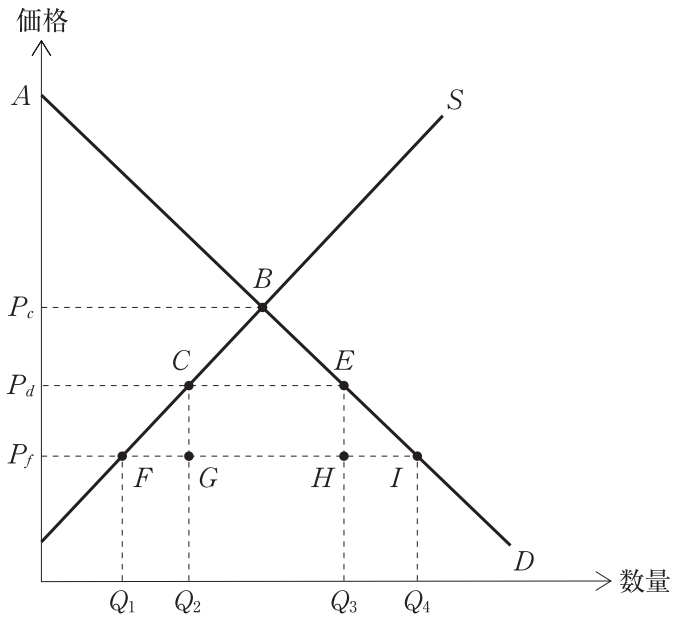
オ　a：誤　b：誤　c：正　d：誤

第18問

ある国際的に規格化された財に対する関税の効果を考える。国際市場で P_f の価格が成立している当該財の国内需要曲線は D、国内供給曲線は S である。したがって、貿易を行わない閉鎖経済の下では、P_c の市場価格が成立する。

当初、この国では当該財について自由貿易体制がとられていたが、輸入財１単位当たり一定の関税が賦課されたことで、国内価格は P_d に上昇することになった。

この図に基づいて、下記の設問に答えよ。



（設問１）

当初の自由貿易下における状況に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　この財を生産する国内企業の供給量は Q_4 である。

b　消費者余剰は、閉鎖経済の場合に比べて四角形 P_cP_fIB だけ大きい。

c　生産者余剰は、閉鎖経済の場合に比べて四角形 P_dP_fFC だけ小さい。

d　社会的余剰は、閉鎖経済の場合に比べて三角形 BFI だけ大きい。

〔解答群〕

ア　a：正　　b：正　　c：正　　d：誤

イ　a：正　　b：誤　　c：誤　　d：正

ウ　a：誤　　b：正　　c：正　　d：正

エ　a：誤　　b：正　　c：正　　d：誤

オ　a：誤　　b：正　　c：誤　　d：正

（設問２）

自由貿易から関税政策に移行したことの効果に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　輸入量の減少分は、線分 Q_1Q_2 と線分 Q_3Q_4 の合計である。

b　消費者余剰は、自由貿易体制の場合に比べて四角形 P_dP_fIE だけ小さくなる。

c　関税による政府の収入は、四角形 P_dP_fHE である。

d　関税の導入に伴う厚生上の損失は、四角形 $CFIE$ である。

〔解答群〕

ア　a：正　　b：正　　c：誤　　d：正

イ　a：正　　b：正　　c：誤　　d：誤

ウ　a：正　　b：誤　　c：正　　d：誤

エ　a：誤　　b：正　　c：正　　d：誤

オ　a：誤　　b：誤　　c：誤　　d：正

第19問

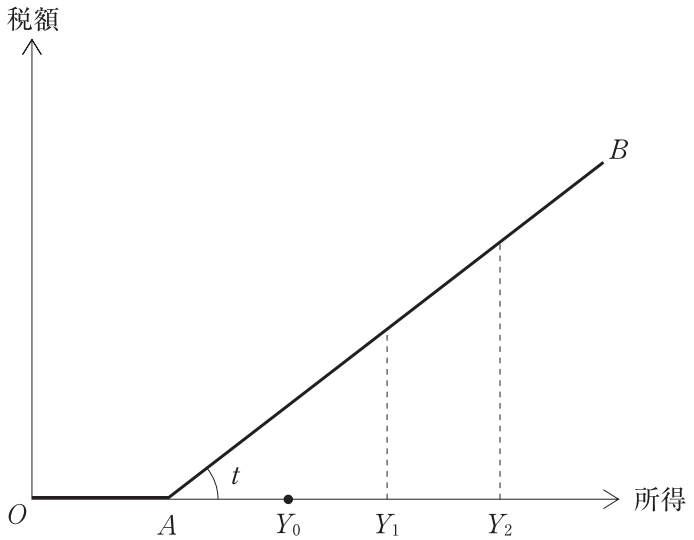
下図は、所得税において一定の所得水準までは課税しない基礎控除の効果を考えるため、縦軸に税額、横軸に所得をはかり、線形の課税線 OAB を描いている。

このうち AB の部分は、

$$T = t(Y - A)$$

で定義され、Y は所得金額、T は税額、t は比例税率、A（図の線分 OA）は基礎控除額を表している。

この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



a　所得 Y_1 を得る者と所得 Y_2 を得る者では、追加的な同額の所得に対して課せられる税額が等しい。

b　所得全体に占める税額の割合は、所得 Y_1 を得る者の方が所得 Y_2 を得る者よりも大きい。

c　税率を一定にしたまま基礎控除額を Y_0 まで引き上げることによる減税額は、所得 Y_2 を得る者の方が所得 Y_1 を得る者よりも大きい。

〔解答群〕

ア　a：正　　b：正　　c：正

イ　a：正　　b：正　　c：誤

ウ　a：正　　b：誤　　c：誤

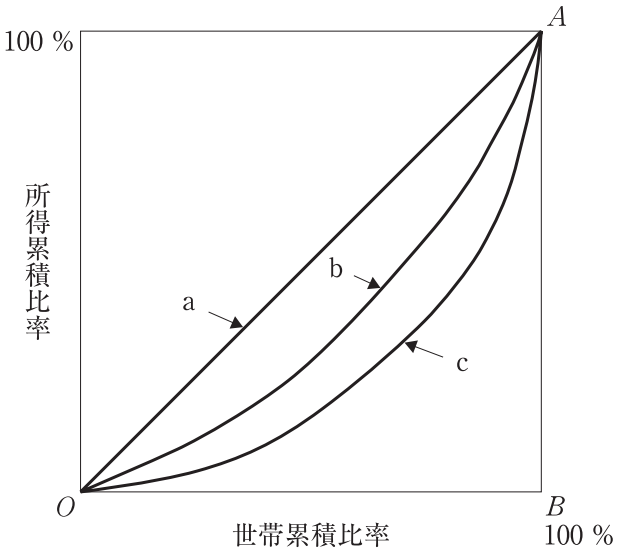
エ　a：誤　　b：正　　c：誤

オ　a：誤　　b：誤　　c：正

第20問

下図は、縦軸に所得累積比率、横軸に世帯累積比率をはかったときのローレンツ曲線を示している。

この図に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



〔解答群〕

ア　a のローレンツ曲線は、所得が 1 つの世帯に集中している状態を表している。

イ　b のローレンツ曲線は、c のローレンツ曲線よりも所得がより不平等に分布している。

ウ　ローレンツ曲線が c の場合のジニ係数は、ローレンツ曲線が b の場合のジニ係数より大きい値となる。

エ　ローレンツ曲線が線分 *OBA* で表される場合、ジニ係数はゼロである。